【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【公開番号】特開2016-51079(P2016-51079A)
【公開日】平成28年4月11日(2016.4.11)
【年通号数】公開・登録公報2016-022
【出願番号】特願2014-176481(P2014-176481)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　5/22　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/14　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　5/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　5/22　６６０Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/14　３１０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　3/14　３１０Ｄ
Ｇ０９Ｇ　5/32　６４０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年8月29日(2017.8.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、複数の画面における項目名称の表示可能文字数に応じて、共通の項目名称を容易に決定可能な仕組みを提供することを目的とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の情報処理装置は、複数の画面において共通する項目名称について、各画面における表示可能文字数を特定する特定手段と、前記特定手段により特定された前記表示可能文字数に基づき、複数の画面において共通して表示可能な項目名称を決定する決定手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明によれば、複数の画面における項目名称の表示可能文字数に応じて、共通の項目名称を容易に決定可能な仕組みを提供することができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更

【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の画面において共通する項目名称について、各画面における表示可能文字数を特定する特定手段と、
前記特定手段により特定された前記表示可能文字数に基づき、複数の画面において共通して表示可能な項目名称を決定する決定手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記特定手段は、遷移先の画面と遷移元の画面を含む数の画面において共通する項目名称について、各画面における表示可能文字数を特定することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記複数の画面における各項目名称の最大表示可能文字数のうち最も小さい文字数を、前記複数の画面において共通する項目名称について特定する最小文字数特定手段と、
を備え、
前記決定手段は、前記最小文字数特定手段により特定された最小文字数におさまる項目名称を決定することを特徴とする請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記決定手段により決定された項目名称を、前記複数の画面それぞれにおいて表示する表示手段と、
を備えることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
情報処理装置において、
複数の画面において共通する項目名称について、各画面における表示可能文字数を特定する特定工程と、
前記特定工程により特定された前記表示可能文字数に基づき、複数の画面において共通して表示可能な項目名称を決定する決定工程と、
を含む制御方法。
【請求項６】
情報処理装置を、
複数の画面において共通する項目名称について、各画面における表示可能文字数を特定する特定手段と、
前記特定手段により特定された前記表示可能文字数に基づき、複数の画面において共通して表示可能な項目名称を決定する決定手段として機能させるためのプログラム。